



# 良品計画×コープさっぽろ ファンミーティング



## 《注意事項》

・イベントの様子をスタッフが撮影します。ご了承くださいませ。

# 本日のアジェンダ

時間	内容	登壇者紹介
11:00～	開始・ご挨拶 「無印良品・良品計画について」	(株)良品計画 執行役員 経営企画部長 堀口 健太 経営管理部/経理財務部管掌
11:15～	北海道における無印良品の地域土着化	(株)良品計画 北海道事業部長 三浦 秀隆
11:25～	コープさっぽろの取り組みについて	生活協同組合コープさっぽろ 執行役員 開発本部長 村上 伸吾
11:40～	質疑応答	
12:10	閉会	



# 無印良品・良品計画について

■ 無印良品・良品計画について

■ 良品計画の目指す姿／ステークホルダーとの関係づくり

■ 財務情報



氏名/Name:

堀口 健太

Kenta Horiguchi



■ 所属、タイトル

- 執行役員 経営企画部長  
経理財務部、経営管理部、広報・IR・ESG推進部管掌

■ 今までの経歴

- ・ 06年 新卒で良品計画に入社
- ・ 07年 店長
- ・ 08年 ブロックマネージャー
- ・ 10年 MUJI上海 北京、上海駐在
- ・ 15年 MUJI ITALIA ミラノ駐在
- ・ 19年 店舗サポート部長
- ・ 20年 企画室 部付部長
- ・ 21年 執行役員 経営企画部 部長

■ 良品計画でやりたい仕事、チャレンジ、野望/

- MUJIを真のグローバル企業、ブランドへ

# 無印良品について

## 無印良品のあゆみ



堤 清二  
Seiji TSUTSUMI



田中 一光  
Ikko TANAKA



Photo by Seiko Suzimoto

杉本 貴志  
Takashi Sugimoto

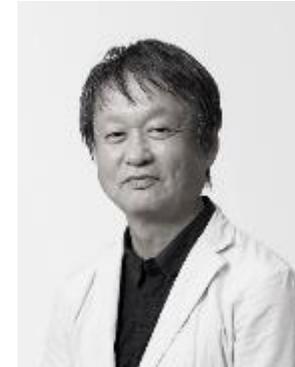


Photo by Taishi Hirokawa

小池 一子  
Kazuko Koike



原 研哉  
Kenya Hara



深澤 直人  
Naoto Fukasawa



Photo by Masayuki Hayashi

須藤 玲子  
Reiko Sudo

権力や体制に対する疑念と、弱い者、小さいもの、儂いものへの眼差しから、  
望ましい未来と普遍性を探り当てる思考とデザイン。

# 無印良品について

## 無印良品のあゆみ



### 1980年 無印良品誕生

消費社会へのアンチテーゼとして誕生。  
当時は西友ストアのプライベートブランド。



### 「わけあって、安い」

代表的な商品「こうしん われ椎茸」



### 1983年 直営1号店開店

直営1号店「無印良品 青山」がオープン

# 無印良品について

## 無印良品のあゆみ



**1989年 (株)良品計画設立**  
設立後、2000年東証一部指定



**1991年 海外展開開始**  
イギリス、香港にオープン



**2005年 上海現地法人設立**  
無印良品（上海）商業有限公司設立

# 無印良品について

## ものづくりの考え方

良品計画は1980年のブランド創生以来、3つの視点でものづくりを続けてきました。

**素材**  
の選択

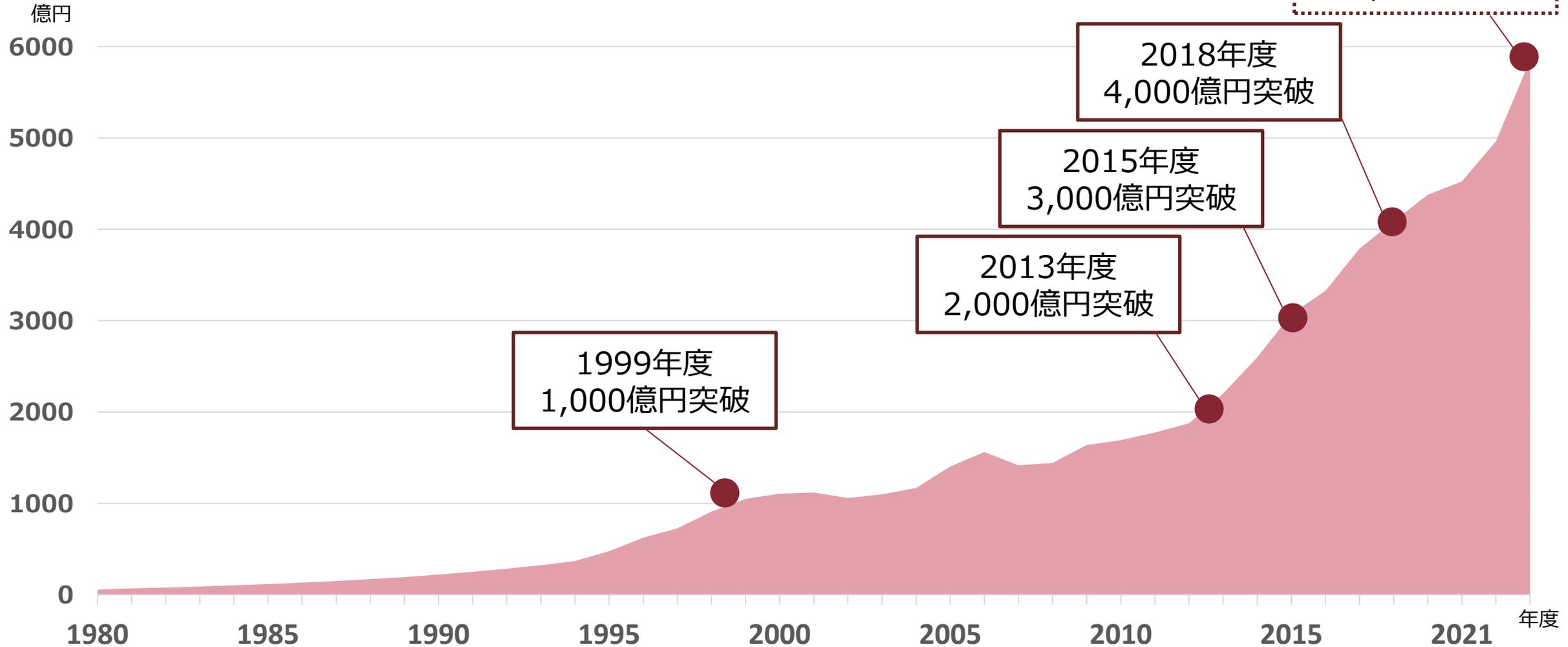
**工程**  
の点検

**包装**  
の簡略化

地球環境や生産者に配慮した素材を選び、すべての工程において無駄を省き、  
本当に必要なものを本当に必要なたちで  
お客様に提供することを目指した、実質本位のものづくりです。

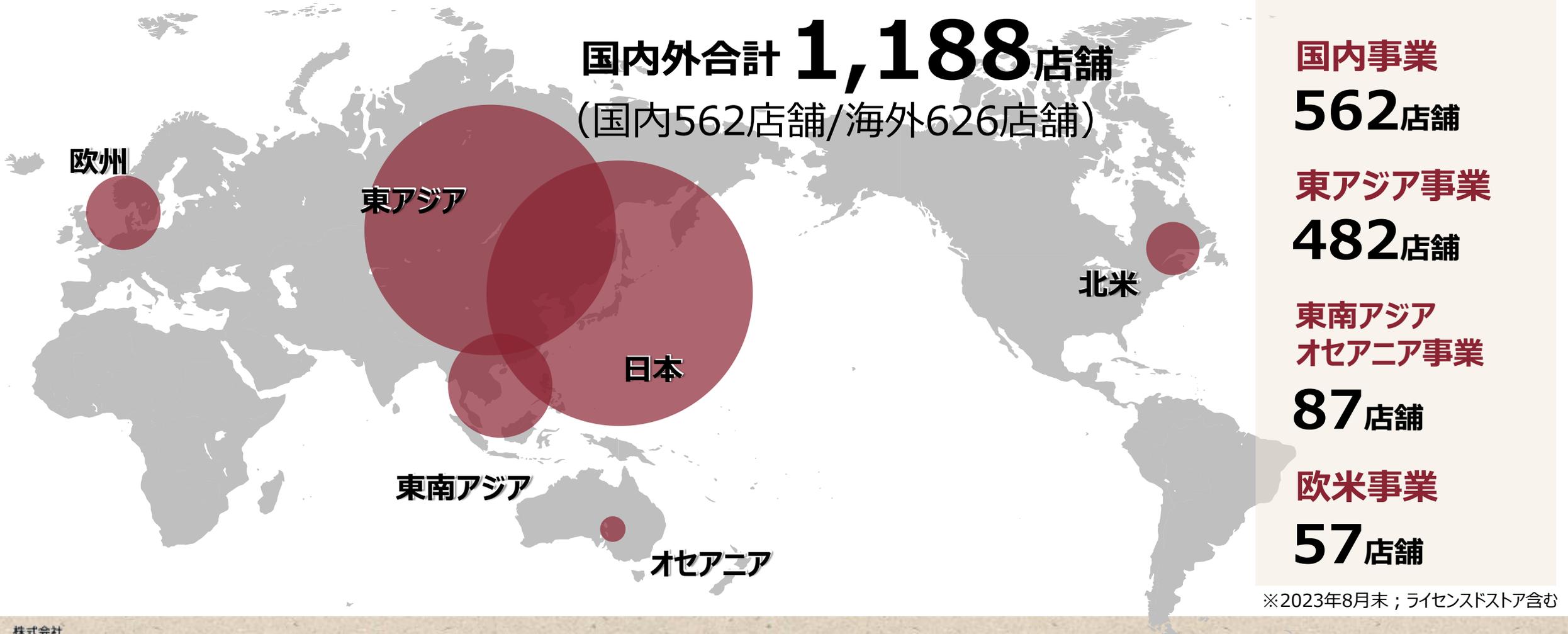
# 良品計画について

## 売上の推移



# 良品計画について

世界に広がる無印良品



# 良品計画について

## 中国大陸事業のあゆみ

- 2005年に出店を開始し、2013年に100店を突破。2024年までに年間50店舗出店可能な体制を構築。



# 良品計画の目指す姿

## 企業理念

「人と自然とモノの望ましい関係と心豊かな人間社会」  
を考えた商品、サービス、店舗、活動を通じて  
「感じ良い暮らしと社会」の実現に貢献する。

## 二つの使命

1. 日常生活の基本商品群を誠実な品質と倫理的な視点から開発し、使うことで社会を良くする商品を、手に取りやすい価格で提供する。
2. 店舗は各地域のコミュニティセンターとしての役割を持ち、地域の皆さまと課題や価値観を共有し、ともに地域課題に取り組み、地域への良いインパクトを実現する。

# 良品計画の目指す姿

2030年に実現したいこと

日常生活の基本を担う

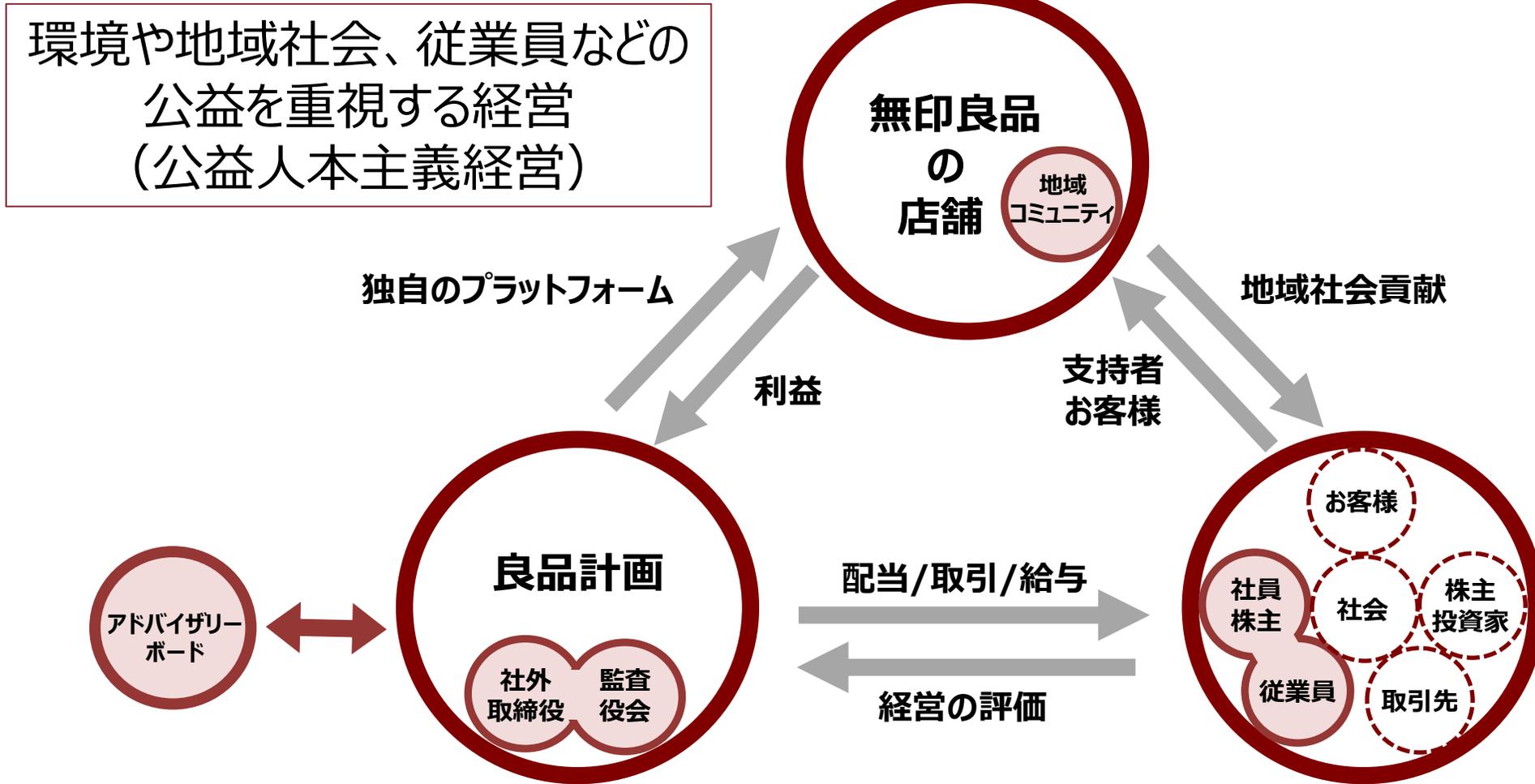
地域への土着化

その実現に向けて、

個店経営、コオウンド経営の実践  
感じ良いオンラインの提供  
ESG経営のトップランナー

# 良品計画の目指す姿

## 新たなガバナンス構想



# ステークホルダーとの関係づくり

## 株主とのつながり

### 株主ミーティングの開催（2022年11月23日/祝日）

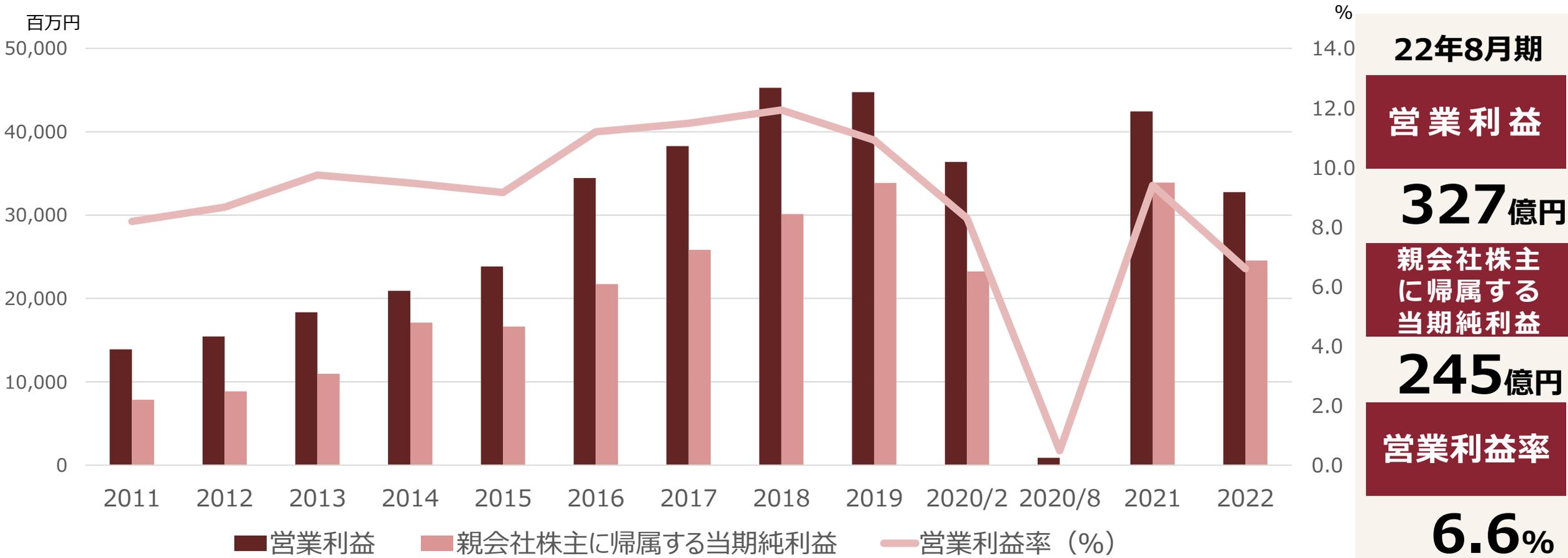
今期より祝日に株主総会を開催し、約800名の方が会場あるいはオンラインにて参加。総会后、株主の皆様と当社経営陣の間で、ビジョン、商品、店舗運営等を直接意見交換する場として、株主ミーティングを実施。



※当日の様様を、当社WEBサイトで公開しております。 [https://www.ryohin-keikaku.jp/ir/shareholders\\_meeting/](https://www.ryohin-keikaku.jp/ir/shareholders_meeting/)

# 財務情報

## 営業利益・当期純利益／営業利益率の推移



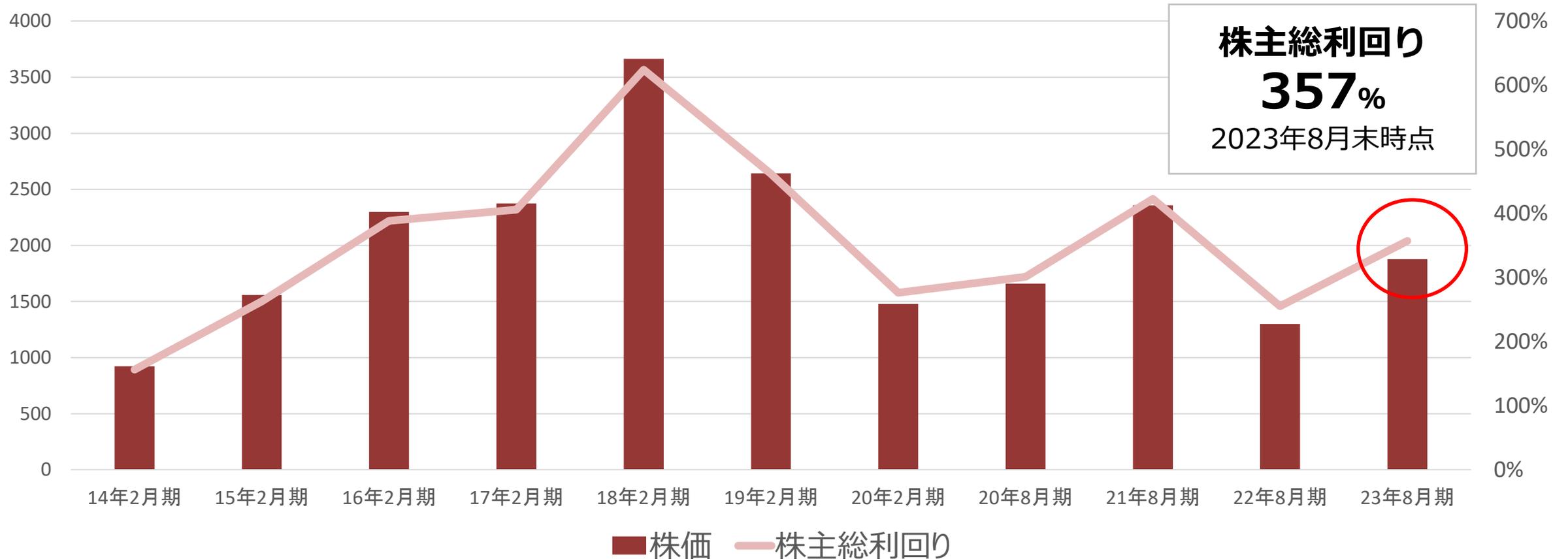
注：2020年8月期は、決算期変更のため6か月の数値です。

# 財務情報

## 株価/株主総利回り

株主総利回り (TSR) =  
株式投資により得られた収益 (キャピタルゲイン + 配当) ÷ 株価

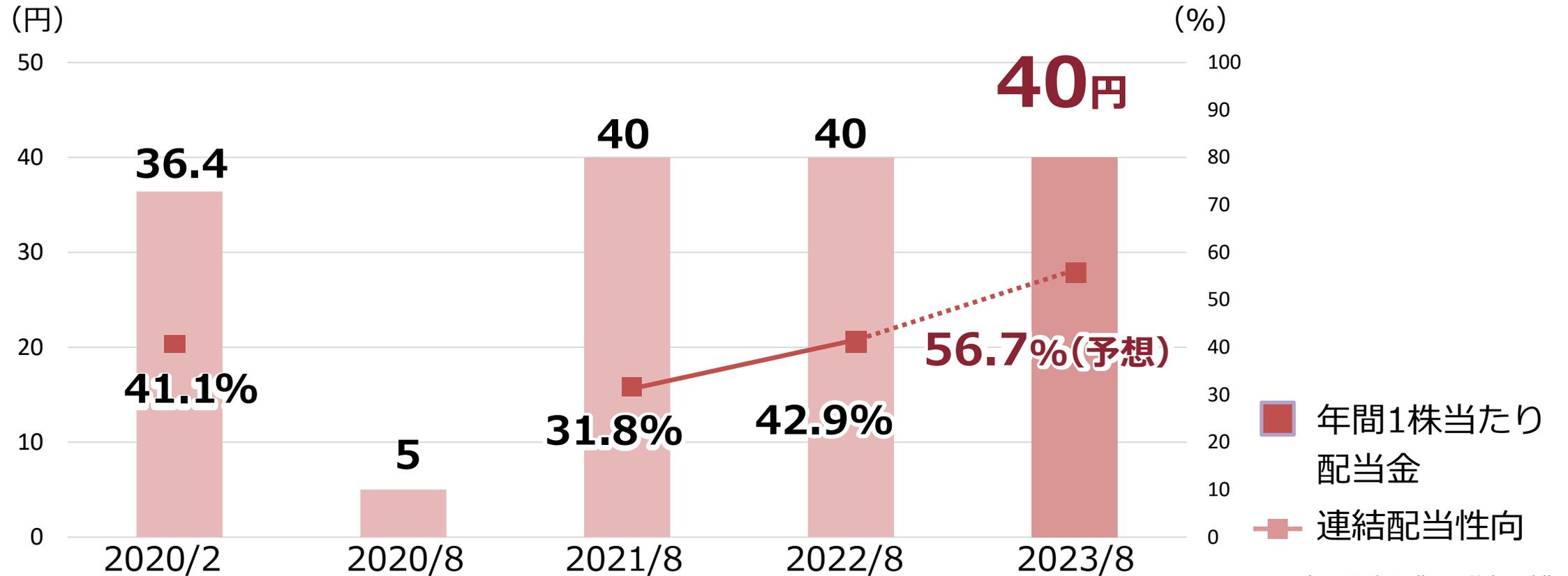
### 株価と株主総利回り (2013年2月期末を基準) の推移



# 財務情報

## 株主還元－配当

当社は、連結での業績に基づいた配当とし、配当性向30%(年間)を基準にしております。



注：2020年8月期は、1株当たり当期純損失のため、記載していません

# 財務情報

## 株主還元－株主優待

株主の皆様との中長期的な関係づくりを強化するため、株主優待を正式導入。

2019年に株式を10分割し、投資単位を引き下げ。株主数は分割前の約1.4万名から約15万名に増加。

2023年8月末時点の最低投資金額は19万円程度。

- 開始時期・対象：2023年8月末時点の100株（1単元）以上保有する株主様
- 優待の内容：お買い物5%割引（期間中は何回でも利用可）

※8月末時点の株価（1,878円）、1株当たり配当40円で試算

お買い物額	優待割引額 (円)	優待利回り	配当利回り	実質利回り (優待+配当)
3万円	1,500	0.8%	2.1%	2.9%
5万円	2,500	1.3%	2.1%	3.5%
10万円	5,000	2.7%	2.1%	4.8%



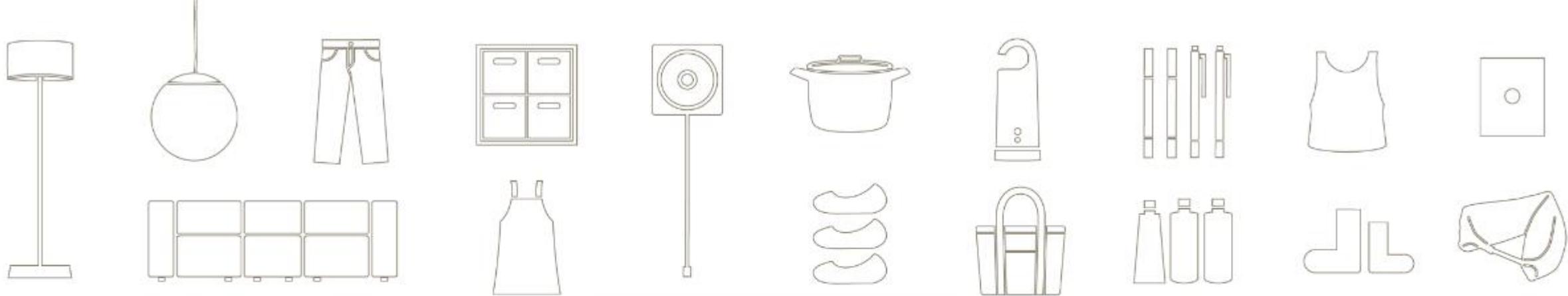
# 良品計画の目指す姿

## 企業理念

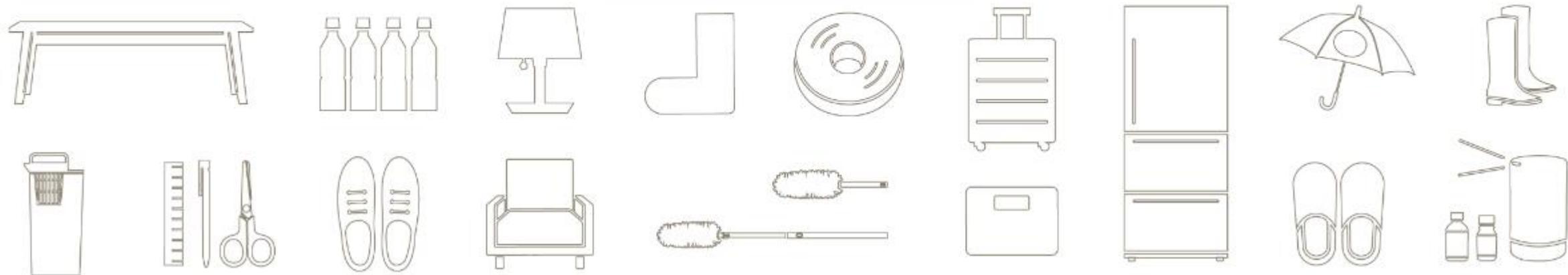
「人と自然とモノの望ましい関係と心豊かな人間社会」  
を考えた商品、サービス、店舗、活動を通じて  
「感じ良い暮らしと社会」の実現に貢献する。

## 二つの使命

1. 日常生活の基本商品群を誠実な品質と倫理的な視点から開発し、使うことで 社会を良くする商品を、手に取りやすい価格で提供する。
2. 店舗は各地域のコミュニティセンターとしての役割を持ち、地域の皆さまと課題や価値観を共有し、ともに地域課題に取り組み、地域への良いインパクトを実現する。



**MUJI**  
無印良品





## 北海道における無印良品の地域土着化

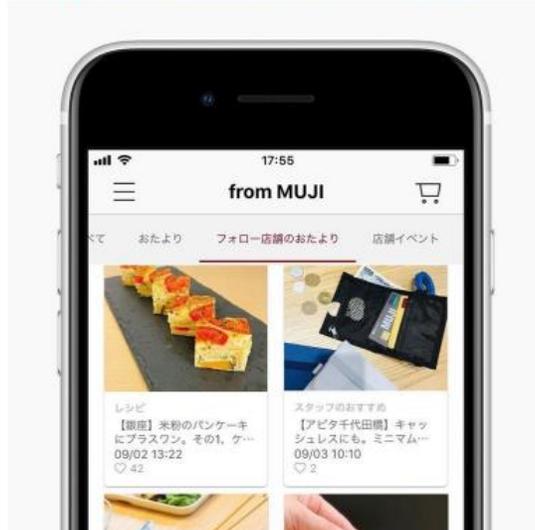




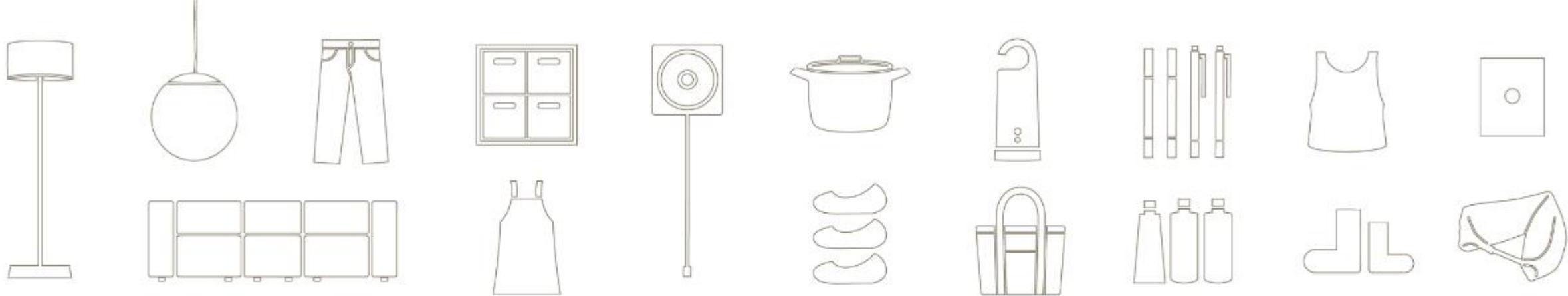
**MUJI**  
無印良品



**MUJI**  
無印良品

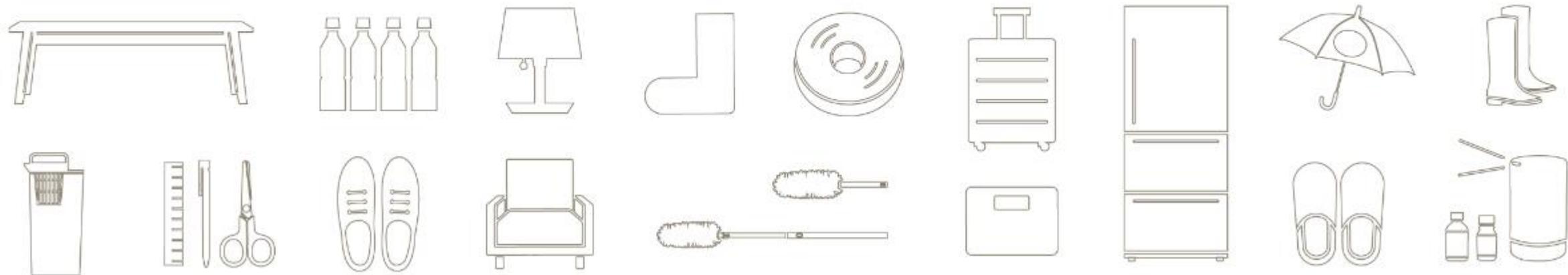


**MUJI**  
無印良品



**MUJI**  
無印良品

北海道と「無印良品」



北海道にとって、  
なくてはならない存在になりたい

## 北海道隅々まで無印良品を届ける

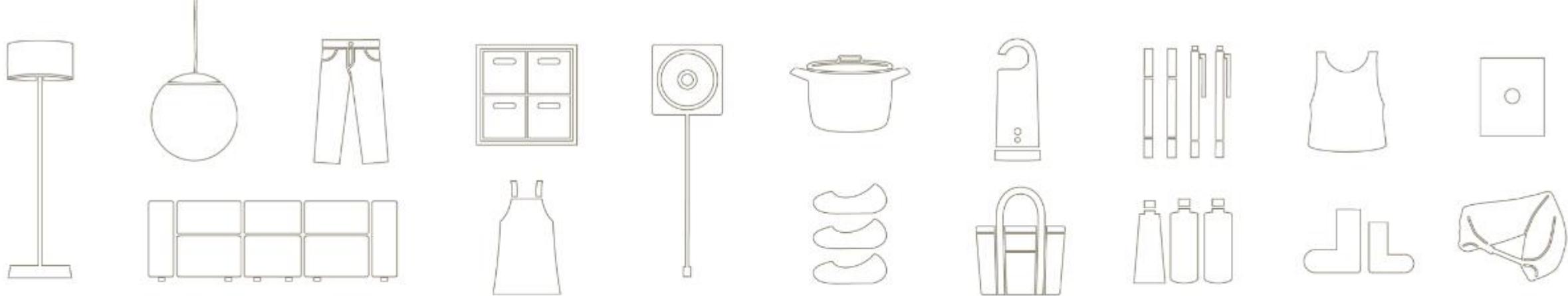
- ・ 出店、出張販売、宅配等を駆使し全道500万人に商品を届ける
- ・ コミュニケーションのある店舗づくりの実現
- ・ 店舗販売力の強化＝経営体力を盤石なものとし更に役に立つ

## 北海道の役に立つ

- ・ 地域経済の発展に貢献する。地域、自治体、地元企業・団体とつながる
- ・ 豊かな北海道（食・資源・文化）を地元、全国に、世界に届ける
- ・ 店舗が地域のコミュニティセンターとなり地域課題解決に貢献

## 北海道から人材を輩出する

- ・ 地域で活躍するコミュニティマネージャーの育成、輩出
- ・ 道内人材発掘
- ・ 雇用で役に立つ（若年者、高齢者、障害者雇用等）



北海道隅々まで、無印良品を届ける



# 2023年7月現在 17店舗

札幌、旭川、小樽、函館に展開  
空白主要都市は  
帯広、釧路、苫小牧、室蘭など



店舗出店だけでなく  
宅配・出張販売  
コンビニでも展開



# シエスタハコダテ 移動販売

店舗までなかなか足を運びづらい地域にお住いの方々のもとへ  
移動販売車が生活にまつわる品々をお届け

シエスタハコダテから、役場、湖、山間地  
交通空白地帯や高齢者が多い地区など…



# 無印良品

はじめまして無印良品です。

無印良品は、1980年に誕生してからずっと、  
環境・社会に配慮した3つの視点、  
1.素材の選択、2.工程の点検、3.包装の簡略化を守りながら、  
衣服や生活雑貨、食品と幅広い品揃え7,000商品を超えました。  
今回はその中から厳選した商品をいくつかご紹介します。  
この機会にぜひお試しください。

## Vol.1

3月第4週～6月第3週

保存版カタログ

【注文受付期間】  
3月14日(月)～6月10日(金)  
【商品お届け期間】  
3月28日(月)～6月24日(金)

商品のお届けは、  
ご注文の翌々週になります。



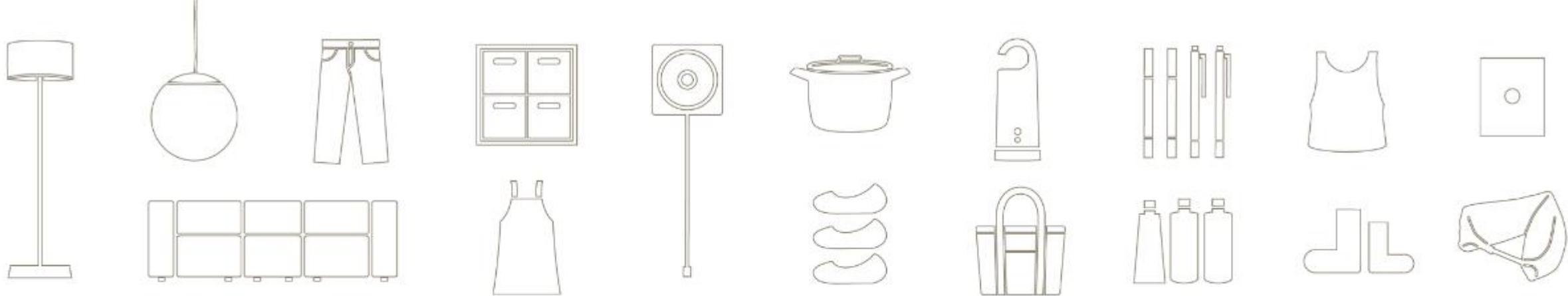
※こちらのカタログは、6月第3週まで有効です。お手元に保存してご注文ください。  
※ご案内の商品は、コープ宅配システム「トドック」に初めて掲載される商品です。



食品や日用品を**玄関先**までお届け！

## コープさっぽろ様との宅配協業開始

北海道全土を網羅するコープさっぽろ宅配システム「トドック」と連携  
道民のみなさまの暮らしの役に立ちたい



北海道の役に立つ



SHARE \ STAR

# 無印良品 シエスタハコダテ



無印良品

無印良品

本町24

40

STARBUCKS

SHARE \ STAR

JINS

無印良品

mi

# 無印良品 シェスタハコダテ

## 「食」

- 無印良品の標準的な品揃えに加え、野菜、惣菜、グロサリーなど、新鮮な食材や近郊で加工生産された商品を提供（北海道・東北エリアで初）

## 「つながる」

「食を通してつなぐ、つながる」をコンセプトに、地元生産者とのつながりが深い野菜・果物の専門店や函館の老舗パン屋など、無印良品の考え方に共感してくださる企業と協業

無印良品ならではの視点から地域の魅力を見出し紹介することで、お客様と生産者との信頼やつながり、交流を生みだしていきたい



無印良品 シエスタハコダテ  
函館つながる市



# 北海道の自治体との連携協定

## 森町（2021年）



- 無印良品 シエスタハコダテをきっかけに、北海道の南「道南」で生育している「道南杉」を店内環境に活用したことからつながりが生まれる
- 出張販売をとおして、地域の皆さまのお困りごとを直接お伺いし、地域住民の方々とともに課題解決を行う

## 函館（2022年）



- シエスタハコダテでの定期的なワークショップ・イベントの開催や、函館コミュニティプラザ「Gスクエア」との共催企画と運営、移動販売の実施を通してつながる
- 本町・五稜郭・梁川地区の賑わい創出、商業振興などの取り組みをさらに発展

# 無印良品札幌パルコ 札幌国際芸術祭連携

## 「札幌国際芸術祭連携セミナー」

2023年7月22日@無印良品札幌パルコ

LAST SNOW レクチャー 第5回  
想像してみよう、「未来の雪のまち」  
with 無印良品 and パノラマティクス

ゲスト:三浦秀隆(株式会社良品計画 北海道事業部長)  
山下涼平(無印良品 札幌パルコ 店長)  
菅原卓馬(パノラマティクス プロデューサー)



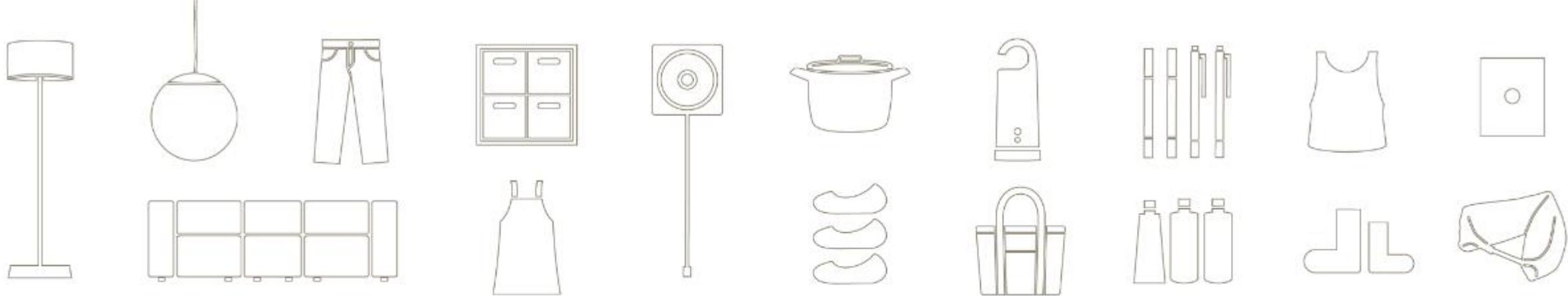
2023年7月22日(土)  
14:00-16:00(予定)  
無印良品 札幌パルコ 5階 Open MUJI  
& オンライン配信



札幌国際芸術祭のイニシアティブパートナーである、良品計画とパノラマティクスと、札幌市とのセミナーを開催。今回のレクチャーでは、2つの企業のこれまでの実践と、SIAF2024に向けた「未来の雪のまち」について話が繰り広げられました。

# 無印良品札幌パルコ つながる市





北海道から人材を輩出する



地域と無印良品をつなぐ  
“コミュニティーマネージャー”



## 函館市・丸井今井函館・五稜郭商店街との協業『五稜郭街角オープンテラス』



コロナ下で困っている飲食店や商店街を助けるため、無印良品とシエスタハコダテと丸井今井函館が中心となり、密にならない路上での飲食営業を函館市と周辺の商店街組合、周辺の飲食店、隣の丸井今井百貨店と協力して共同で申請。店舗のある本町地域の路上で各店舗が一斉に営業するオープンテラスイベントとしてシルバーウィークに開催。地元の新聞でも取り上げられ大きな注目を集めた。

# 官民連携『ハートメイドマルシェ』

## Open MUJI

### 11月 無印良品 シエスタハコダテ Event Information

無印良品が考えているコトを提案し、お客様とともに考え、話し、活動する空間です。

イベントの詳細、お申込みはこちら

▶ MUJI passport

Webでのお申込みはイベントの前日まで、お席に空きがある場合、当日でもご参加いただけます。

▶ TEL: 0138-51-3025 (受付時間 10:00~20:00)



## ♥♥ 障がい福祉事業所のみなさんの ハートメイドマルシェ ♥♥

函館市の障がい福祉事業所のみなさんがひとつひとつ丁寧にまごころを込めて作った授産製品の販売会。ラベル貼り・仕分け・袋詰めなど、製品ができるまでの工程に携わった商品や、ハンドメイド作品などの各事業所が思い思いに、原材料・製法にこだわった製品やてづくり雑貨が並びます。障がい福祉事業所さんの授産製品を通し考え、話し、ヒトとヒトをつなぐ、活動する空間 Open MUJI へぜひ、お越しください。

開催日時: 11月3日(木)~5日(土) 10:00~18:00

開催場所: 無印良品シエスタハコダテ 1F Open MUJI、B1F

※ 商品が無くなり次第終了とさせていただきます

主催: 函館市 協力: 無印良品シエスタハコダテ 運営団体: 函館市身体障害者福祉団体連合会

▶ エコバッグ活用のお願い

プラスチック製買い物袋の排出抑制を促進するため、ハートメイドマルシェではレジ袋をご用意しておりません。エコバッグを持参のうえご来場くださいませ。



# 産学連携 奥尻高校との協業『奥尻マルシェ』『奥尻高校生徒募集説明会』

Open **MUJI**

無印良品 シェスタハコダテ

**7**月 Event Information

無印良品が考えているコトを提案し、  
お客様とともに考え、会話し、  
活動する空間です。

イベントの詳細、お申し込みはこちら

▶ MUJI passport  
WEB: [www.muji.com](http://www.muji.com) / [www.muji.jp](http://www.muji.jp)  
AIC: 0138-51-3025 (受付時間10:00-20:00)





## 奥尻マルシェ

奥尻島は、北海道西部の日本海上に浮かぶ人口約2,600人の小さな島だが、縄文時代の遺跡や遺物が多く見られる歴史のある島です。島で唯一の高校である奥尻高校は、毎年「島育卒業」が入学し、帰郷活動をはじめとした様々な取り組みを行っています。2018年にはオアシス・イン・パースン事業（通称OIC）が「帰郷活動支援活動」として認定し、Tシャツ販売や雑誌のモデル依頼などを行い、自分たちの手で帰郷活動支援をすすめています。今回のマルシェは、奥尻高校OICの活動の一環として、生徒たちの思いが詰まった島産品の販売を企画します。ぜひお越しください。

**開催日時**

- 7月20日【土】14:30-17:00
- 7月21日【日】10:00-16:00

(各自車での来場です)

**開催場所**：無印良品 IF 特設会場

企画者紹介：オアシス・イン・パースン事業 (OIC) Innovation Division / 通称OIC





奥尻高校と協業でイベントを開催。島留学生を募集する学校説明会をOpenMUJIで開催。また、生徒達の部活遠征費を稼ぐためにマルシェを開催。今まで3回開催。毎回TV局と新聞社が取材にくる等注目を集める。

# 奥尻島への出張販売



無印良品の移動販売車、出発します。

## MUJI to GO

MUJI to GOは、無印良品シエスタハコダテを拠点とする移動販売式店舗です。生活の在り方が変わっても、地域で変わらず“役に立つ”ために、店舗までなかなか足を運びづらい地域にお住まいの方々のもとへ無印良品から出向き、会話し、安心して暮らせるように生活にまつわる品々をお届けします。



開催日時/場所  
7月22日 | 金 | 14:00～18:00  
7月23日 | 土 | 10:00～13:00

紀伊國電器  
(北海道奥尻郡奥尻町字奥尻766)

※ 在庫限りはご遠慮ください。  
※ 開催内容は変更する場合がございます。開催前日午後通知いたします。  
※ 運行情報は、無印良品のアプリ「MUJI to GO」内の「Hello! Park」から、シエスタハコダテアプリ「stapag」, tobookからご覧いただけます。



一足で専らるシンポジウム + ワークショップ～  
奥尻の海を守りたい！  
～海洋プラスチックを考える～  
【開催日時】2022年7月22日(金)  
18:30～20:00  
【入場料】無料  
【開催場所】奥尻町海洋研修センター  
【定員】100名程度  
※ 奥尻県民、奥尻からの参加と、島  
民に寄り添った企画に賛同いただける方、  
ぜひ！

～同時開催～  
ワークショップ  
Hello! Park  
プロジェクト



# 官民学連携『奥尻の海を守りたい！海洋ゴミを考えるシンポジウム』



photo by Yuto Satozaki



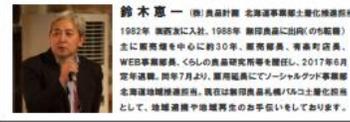
**岩元 美智彦**  
株式会社JEPLAN  
取締役 執行役員委員

1964年鹿児島県生まれ。  
1987年3月、北九州市立大学経済学部卒業。  
卒業後に就職した繊維商社では営業職に携わるなか、容器包装リサイクル法の制定を機に繊維リサイクルに深く携わる。2007年1月日本環境設計（現：（株）JEPLAN）を設立。資源が循環する社会づくりを目指す。リサイクルの技術開発だけでなく、メーカーや小売店など多業種の企業とともにリサイクルの統一化に取り組み、Japan Venture Awards 2017中小企業庁長官賞受賞、第40回ベストファーザー イエローリボン賞では経済部門にて受賞など受賞歴多数。著書『捨てない未来』はこのビジネスから生まれる。（ダイヤモンド社）



**横田 健**  
奥尻町長

昭和40年 5月18日生まれ 奥尻町生まれ  
平成5年3月 奥尻高校卒業  
平成5年4月 奥尻町役場入庁  
奥尻町役場入庁後は、水産課には水産振興・利便・振興などを担当し、平成2年4月より環境、現職は奥尻町サーモン振興や町の水産・農林業共に、一次産品を持続するためのキーマンになっている。



**鈴木 憲一** (株)奥島計画 北海道事業部長兼土壌化学部長

1982年 東京製薬に入社。1988年 奥尻島長島田町(旧長島町)に勤務拠点を中心に約30年、営業部長、専務役員、専任取締役部長、CSLの奥島研究所等を歴任し、2017年6月定年退職。同年7月より、専務役員にてフジケルグッド事業部北海道地域統括部長、現職は奥島島長島田町土壌化学部長として、地産地消や循環再生のお手伝いをしております。



## ～皆で考えるシンポジウム + ワークショップ～ 奥尻の海を守りたい！ —海洋プラスチックを考える—

私たちの大好きな奥尻の海、島の人たちが大切にしている奥尻の海。今この奥尻の海で、いや日本中・世界中の海で何が起きているのでしょうか。授業で取り組むスキューバ、マリンスポーツに最適な美しい奥尻の海、きれいな表情の傍ら西側海岸では投票されたゴミが流れつきます。でもこの漂着物は氷山の一角で、2050年には海に堆積したごみの量と海に生息する生物の総量が逆転するとされています。ゼロカーボンに向けて国や行政・企業に取り組んでいます、いまだ目標には程遠いといえます。「私たちの海は私たちの手で守りたい」、「次の世代にこの美しい奥尻の海を引き継いでいきたい」。今こそ島に住む人ひとりひとりが「自分事」として考え、プラスチックを極力使わない、できる限りリサイクルする行動をとることで、生活排水から海に出るプラスチックを減らすことができます。海洋プラ問題を島の皆さんと共有し、ひとりひとりができることから始める機会にできればと思います。「奥尻の海を守りたい—海洋プラスチックを考える—」実行委員会



～ワークショップ～  
HelloPaxx プロジェクト  
みんなで楽しく遊んで、こどもたちの未来の食と健康環境をよりよくなるみんなの参加型プロジェクト。使い終わったお皿は自治体に戻す。誰でも参加できるイベントです。

【開催日時】：2022年7月22日(金)  
18:30～20:00  
【入場料】：無料 【開催場所】：奥尻町海洋研修センター  
【定員】：100名程度  
※奥尻島民、島外からの参加など自由  
【主催】：『奥尻の海を守りたい—海洋プラスチックを考える—』実行委員会  
【協賛・協力】：奥尻町、奥尻高等学校、(株)JEPLAN、(株)あまらす、(株)アリアファンク、(株)キタハラランドスタッフ、ハートランドフーズ(株)、(株)奥島計画  
※ご参加頂いた全員に無印良品の「ジュート マイバグ」プレゼント！



奥尻高校生への応援で、実現！  
MUJI to GOは、無印良品が選定した移動販売車です。生活のやりがいが変わって、地域が変わらずに生活するために、店舗までお申込みを待つという煩わしい場面にお困りの方々のために、無印良品から出資を、安心して受けることができます。生活に役立つ商品をお届けします。

MUJI to GO  
無印良品の移動販売車、出発します。  
■7月22日(金) 14:00～18:00 奥尻伊藤園駅前 駐車場(中心街側)3号  
■7月23日(土) 10:00～13:00 (北海道奥尻郡奥尻町字奥尻766)



# 檜山振興局と江差町との協業『檜山山歩き・植樹・木工体験ツアー・ヒノキアスナロを訪ねて』

## Open MUJI

無印良品 シエスタハコダテ

### 9月 Event Information

無印良品が考えているコトを提案し、お客様とともに考え、会話し、活動する空間です。

イベントの詳細、お申し込みはこちら

▶ MUJI passport  
※詳細はQRコードを参照してください。  
※無印良品の店舗名、当日のイベント内容は変更となります。

▶ 電話 0138-51-3025 | 受付時間 10:00~20:00



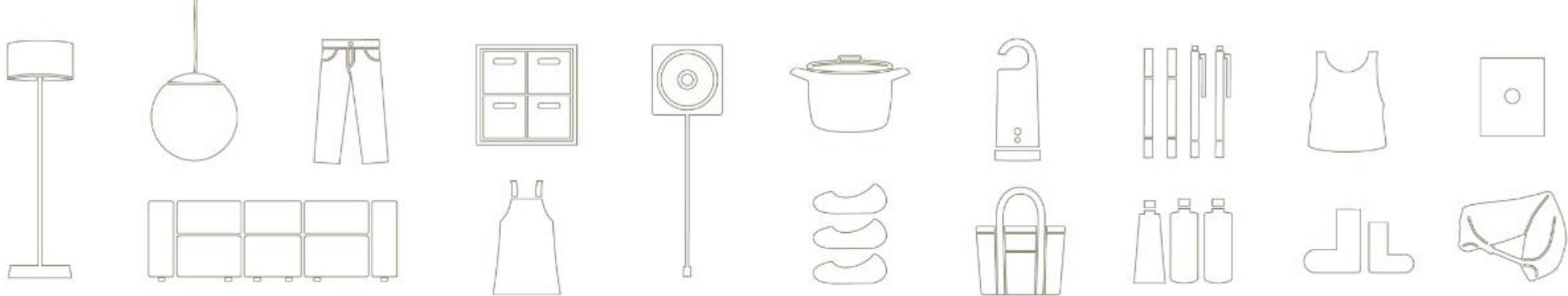
檜山山歩き・植樹・木工体験ツアー  
**ヒノキアスナロを訪ねて**

檜山の地名の由来になっているヒバ（ヒノキアスナロ）は古くから江差町で、神社や仏閣などの建築材として利用されており、江戸時代からニシンとともに北前船交易の主要物として日本の経済を支えてきました。檜山管内では、貴重な資源であるヒバを残していくため、植樹等の活動を継続的に続けており、この取り組みにより檜山古事の高では200〜400年のヒバが現在も成長を続けています。今回は、そんな歴史ある森づくりを感じることで出逢える山歩きツアーとともに観察体験、さらにはマイ製作りが体験できるツアーとなっています。歴史ある森の中で深呼吸してみたいのがですか。

<p>期 間：9月7日（土）</p> <p>開催時間：9:30〜17:00</p> <p>申込期間：9/3〜9/5</p> <p>申込先：北海道建設局自然環境部 自然課 〒040-8501 北海道江差市南町1-1-1 TEL: 0138-51-3025</p> <p>※ 参加費：お一人様 2,000円（税込） （お申し込みは別途）</p> <p>※ 定 員：21名程度</p> <p>※ 申込締切：9/5（土）18:00</p> <p>※ 申込受付先：建設局自然環境部 自然課 〒040-8501 北海道江差市南町1-1-1 TEL: 0138-51-3025</p>	<p>※ 会場に到着してからの</p> <p>会場：江差市 檜山公園 〒040-8501 北海道江差市南町1-1-1 TEL: 0138-51-3025</p> <p>※ 申込先：建設局自然環境部 自然課 〒040-8501 北海道江差市南町1-1-1 TEL: 0138-51-3025</p> <p>※ 申込先：建設局自然環境部 自然課 〒040-8501 北海道江差市南町1-1-1 TEL: 0138-51-3025</p>	<p>当日のスケジュール</p> <p>9:30 - 北海道建設局自然環境部 自然課 9:40 - 北海道建設局自然環境部 自然課 ▶ ヒバ体験 10:30 - 江差町歴史文化資料館 ▶ 植樹 11:40 - 観察体験 ▶ ヒバ体験 12:00 - 昼食（各自の持参） 13:00 - 記念撮影 ▶ 記念撮影 14:20 - 木工製作（木工製作にて製作） 15:00 - 木工製作 ▶ ヒバ体験 15:30 - 江差町歴史文化資料館 ▶ ヒバ体験 17:00 - 北海道建設局自然環境部 自然課 自然課</p>
---	--	---

北海道檜山振興局と江差町と協業で、バスツアーを開催。檜山地域の山歩きとヒバの木の植樹、檜山地方の伝統文化をめぐる内容。参加者は20名。70代から5歳まで幅広い層に参加いただく。参加者からまた参加したいとの声も多く満足度の高いイベントになる。江差町長も参加するなど行政の協力も強く、今後も官民の連携を強化していく。

46



コープ様と一緒に取り組みたい



# いつものもしも

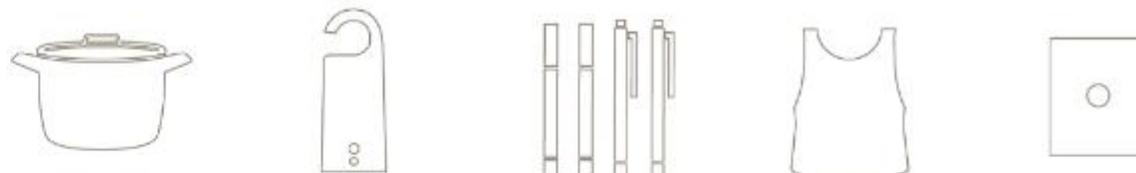
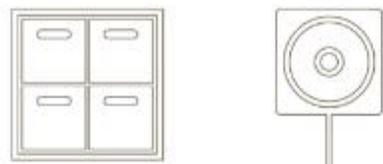
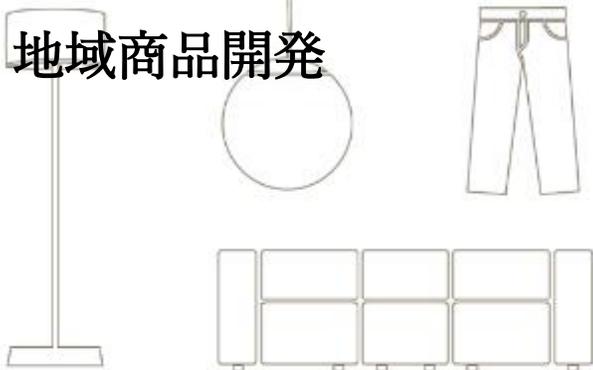
- 知識もモノも含めて、備えを日常的に身につけ、日々の暮らしの中に備えを組み込み「標準装備」する防災
- 知識や知恵の共有、生活の心強い味方になる防災日用品としてのわけを持った商品の選定、被災時に有効なスキルを身に着けるプログラムの提供を、いつものもしも商品群の展開や、地域での「いつものもしも CARAVAN」の実施等を通して展開



くらし  
の備え。  
いつもの  
もしも。



## 地域商品開発



## 農業の課題解決をめざした 商品開発

例：千葉県鴨川市 飯用米を使用した日本酒の開発

- 鴨川里山トラスト活動の一環として実施
- 傾斜地にある狭い耕作地が多いため大規模な営農が困難、また高齢化の進行による生産者減少の中で、水田の維持が課題
- この地で稲作を続ける生産者を支援するため、価格が低迷する飯用米を活用。長狭米コシヒカリの新米を100%使用
- 地元・鴨川市の亀田酒造株式会社と協力して日本酒を醸造、2017年より限定店舗にて販売

# まちの保健室

- 無印良品の店舗内に「まちの保健室」を設け、健康維持・病気予防のための商品、情報、サービスをご提供すると共に、薬剤師、看護師、管理栄養士などの専門家に気軽に健康相談が可能
- 地域の病医院と連携した様々な取り組みも実施し、地域住民の皆様と病医院との橋渡し役も担う



**元気なひとも、いらっしやい。**

「からだ」と「こころ」を健やかに保つには、いつものくらしを見つめなおすことが大切です。からだを知ることから始めて、気軽に心身を整えられる場所として、このまちの皆さんのお役に立ちたいと考えています。



# 他にも色々



**MUJI**  
無印良品



# コープさっぽろの取り組みについて

# 人と人をつなぐ事業

つながり形成 & 生活協同組合

組合員活動

文化 教室

福祉活動

家族葬

旅行

# 人と食をつなぐ事業

食のプロデュース能力

店舗

移動販売

食育

製造

宅配・配食

# 人と未来をつなぐ事業

ソーシャルビジネス開発能力

共済

エネルギー

子育て支援

リサイクル

環境活動

# コープさっぽろの事業概要（2023年3月20日現在）

設立年月日	1965年7月18日
組合員数	197万人
出資金額	873億円
総事業高	3,140億円
店舗	1,912億円
宅配（灯油込）	1,119億円
共済（代理店収入）	22億円
その他	87億円

正規職員	2,405名
契約社員	2,228名
パート アルバイト	10,110名

※従業員数は関連会社含む



# コープさっぽろの事業エリア (2023年3月20日現在)

北海道179市町村(35市129町15村)

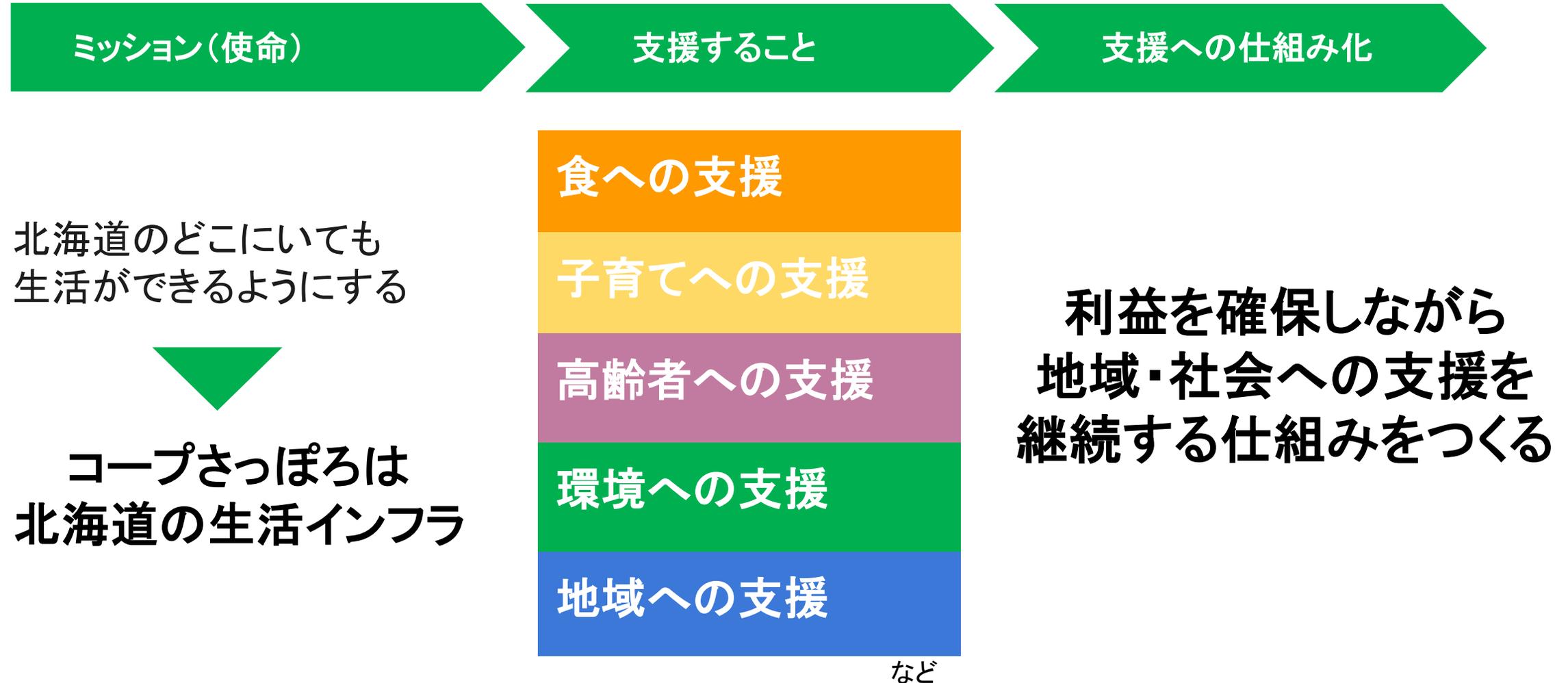
総人口	523万人
世帯数	247万世帯
組合員数	197万人
組織(加入)率(組合員数÷世帯数)	80%
エリア内マーケットサイズ(うち食品)	1兆1,900億円 (2017年度)
コープさっぽろ供給高(うち食品)	2,803億円 (2017年度)
食品マーケットシェア	23.6%

(総人口、世帯数のデータ出所：北海道総合政策部計画局 令和3年住民基本台帳より)  
(エリア内マーケットサイズ出所：帝国データバンク2017年度道内スーパーストア売上高ランキングより)

# コープさっぽろの事業所等 (2023年3月31日現在)

店舗数	108店(8地区本部)	
移動販売車	95台(134市町村)	
宅配センター	41センター 10デポ 車両1,300台	
配食工場	6工場(札幌、函館、苫小牧、旭川、釧路、帯広)	
生産工場	石狩食品工場、江別食品工場、はまなす食品、江別物流センター 生鮮センター(PC)、ドリームファクトリー(函館)	
その他	メガソーラー施設2カ所(帯広) エコセンター(江別) フリエホール2カ所(札幌)	

# コープさっぽろの主な社会貢献の取組



## コープさっぽろの主な社会貢献の取組（主なものを抜粋）

<p>食への取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①コープさっぽろ農業賞</li> <li>②畑でレストラン</li> <li>③食べる・たいせつフェスティバル</li> <li>④ワイン寄附講座</li> <li>⑤アニマドーレ・自炊塾</li> <li>⑥高校生チャレンジグルメコンテスト</li> </ul>
<p>子育てへの取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①えほんがトドック・えほんわくわくキャラバン</li> <li>②ファーストチャイルドボックス</li> <li>③トドックステーション・子育てひろば</li> <li>④大学生育英奨学金制度</li> </ul>
<p>高齢者への取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①見守り協定（174市町村提携）</li> <li>②まるっと元気アップ体操促進</li> <li>③ちょこっと茶屋</li> </ul>
<p>環境への取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①未来の森基金（全道の植樹・育樹）</li> <li>②マイボトルエコアクション</li> </ul>
<p>地域への取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①スクールランチ事業（様似町）</li> <li>②道内4動物園・水族館支援</li> </ul>

# 事例 子育ての取組：コープさっぽろ 子育て応援プロジェクト

## えほんがトドック(2010年6月開始)

えほんがトドック 絵本配布累計冊数 (2010~2021年)

# 約480,000冊



コープ子育て支援基金

〈お申込み期間〉

2021年4月1日~11月30日まで

# 絵本を4冊 プレゼント!!

1~2才のお子さまに、もれなく!

※2021年4月1日現在



## ファーストチャイルドボックス(2018年4月開始)

ファーストチャイルドボックス配布累計数 (2018~2021年)

# 約30,000個



道内第1子出生数 15,000人/年  
申込数 7,500人/年

# 全体の2人に1人へ お届け!

## エコセンター施設



エコセンターはリサイクルの拠点として整理整頓された施設で運用されている。

2021年度資源回収による子育て支援金額

# 1億1700万円

資源回収期間: 2020年3月21日～2021年3月20日

エコセンターの収益は次世代のために。

## 資源回収が子育て支援に

コープさっぽろのエコセンター(江別市)では2008年より、毎日全道の組合員さんが宅配配達時に出してくださるものや、お店などで出される資源を回収し、リサイクルしています。年々回収量は増えており2020年度は36,692トンの資源物を回収。これは、22,782トンのCO<sub>2</sub>削減に相当します。これらの組合員さんから回収させていただいた資源回収して得た収益は、2021年度よりファーストチャイルドボックスやえほんがトドックなどの子育て支援の取組に使用されています。

2008年からの  
エコセンターでの回収累計総量 **376,963トン**  
期間:2008年10月1日～2021年6月30日



宅配トドックでは、商品お届け時に資源回収をしています。

### 子育て応援プロジェクトとは

みなさんから回収した紙パック、食品トレイ、ペットボトルなどはコープさっぽろのエコセンターで資源物として加工、販売し、その収益で絵本プレゼントの「えほんがトドック」や妊婦さんへのプレゼント「ファーストチャイルドボックス」などのコープさっぽろの子育て支援に活用されています。

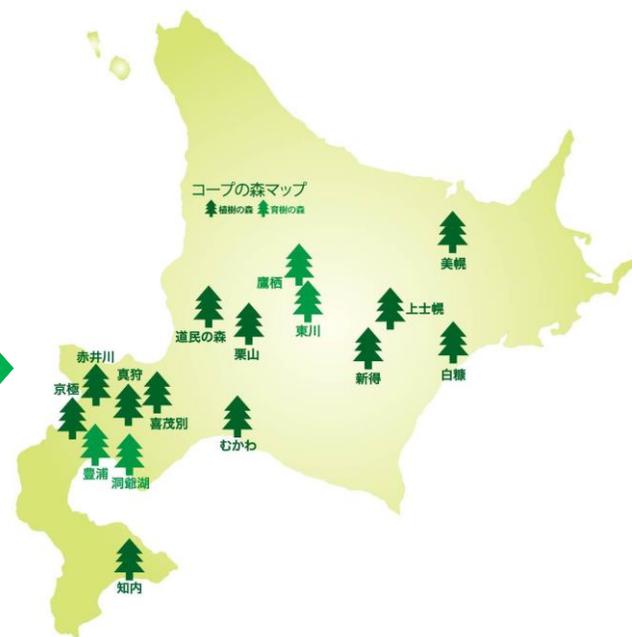
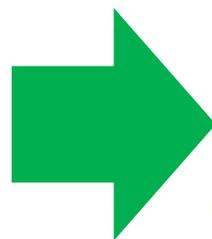


# 事例 環境への取組：未来の森づくり基金

累計植樹本数・基金累計金額(2008年～2020年)

# 10万本・3.6億円

レジ袋辞退=0.5円 が森づくり基金に！



毎日のお買い物が北海道の森づくりに広く役立てられる。

# 第3回 Hokkaido海のクリーンアップ大作戦！（6月17日・21日）

## 全道46会場で開催 参加者10,000人！バス133台！



2018年からの累計受給者数・支援総額

# 1,056人・2億6,400万円

コープで働く大学生には返済のいらぬ奨学金が給付されます。

## コープさっぽろ大学生育英奨学金

大学の学費の高騰と家計収入の減少により、今や大学生の2人に1人が何らかの「奨学金」を利用しており、さらに不安定雇用や低賃金労働の拡大により、卒業しても返済に苦しみ、「返したくても返せない」人達が増加しています。現在の貸与型奨学金制度は卒業後の安定した雇用が前提であり、雇用の安定化を進めながら、高額な教育費を個人にのみ負わせるシステムは、限界に達しています。その矛盾が、若者たちが数百万円という奨学金返済を背負って社会に出ていくという形で象徴的に表れています。この状況が続けば、貧困の連鎖にとどまらず、中間層までもが結婚・出産・子育てが困難となり、少子化・人口減をさらに加速しかねません。コープさっぽろでは、高等教育を希望する子どもたちの学資金支援の一助として、「コープさっぽろ大学生育英奨学金」制度を2017年に創設。家庭の経済的事情で進学を断念しようとする子どもたちが一人でも多く進学できるように支援をしていきます。



コープさっぽろ農業賞 18年間の農業賞応募総数・受賞団体数

# 1,244件・204団体

2004年～2021年現在

北海道で頑張っている生産者さんを消費者として応援！

## コープさっぽろ農業賞

「コープさっぽろ農業賞」は、ささやかでも北海道の元気の一助になればと日本で初めて消費者サイドから農業生産者を応援する企画として北海道、札幌市、ホクレン、北海道ぎょれん、北海道生協連など各団体の協力を得て2004年にスタート。第11回コープさっぽろ農業賞の審査は、当初2020年実施予定でしたが新型コロナウイルスの感染拡大のため延期、2021年に審査を実施しました。18年間、農業賞で得た学びやつながりをいかに事業に結びつけるかというのも私たちの継続的な大きなテーマです。これからもつながりを大切にしながら北海道農業の新しい価値を創出し「北海道で生きることが喜びである」と再認識させてくれる価値ある賞であるよう努めていきたいと思ひます。



コープさっぽろ 農業賞 検索



第11回表彰式集合写真  
(2021年11月26日開催)



第11回コープさっぽろ農業賞  
北海道知事大賞  
「あすなろファーム」(清水町)

## 事例 食への取組：食べる・たいせつフェスティバル

# 食べる・たいせつ<sup>!!!</sup>フェスティバル



**2022年8月より3年ぶりリアル開催（全道8カ所開催予定）**

■ 体験を通して「食べることのたいせつさ」が学べる食育イベントです。「食」はもちろん、「くらし」や「環境」など、さまざまなテーマで子どもたちが楽しめる体験プログラムを実施。

# 事例 地域への取組：高齢者見守り協定締結

高齢者見守り協定 2010年～ 現在**175市町村**と提携



毎週決まった曜日・時間帯に訪問するため異常や異変の察知が可能

組合員  
さん



見守り実績

年間約**400件**

市町村民  
実態把握

離れて  
暮らす  
ご家族



緊急時に連絡

夕食宅配  
サービス

宅配  
ドック

包括連携協定

自治体  
※病院含む

緊急時に連絡

2021年度「コープの移動販売車カケル」稼働市町村・トラック台数

# 134市町村・94台

2021年9月30日現在



すぐそばに行く、  
コープさっぽろの移動するお店で  
買い物支援を

## 移動販売車カケル

買い物の楽しみは、自分で見て選ぶこと。でも、近くにお店が無い場合や体調によっては歩いてお店に行けない方もいらっしゃいます。「コープの移動販売車カケル」は、そんな方への買い物支援を目的に2011年10月に誕生しました。約1,000品目の品揃えで毎週決まった曜日に同じコースを同じ時間で回っています。現在道内134市町村、年間累計100万人の方に利用いただいています。これからも、買い物の楽しさと便利さをお届けしていきます。





トックフードバンク 累計提供金額

49施設・358,334,112円

期間:2016年～2022年



# スクールランチ事業概要ーコープの提供内容

## ポイント1

様似町の児童・生徒様に  
「**温かい昼食**」をご提供する



## ポイント2

コープさっぽろ**配食サービスの仕組み**を利用して小・中学校へ「**配食**」として届ける



## 事例 地域への取組：社会給食事業

### 配食サービスと事業の発展

2010年～13年 一般食スタート 道内6工場体制へ

札幌白石、函館、苫小牧、旭川、釧路、帯広

2012年 **幼稚園給食** 『放射能汚染食材を扱いたくない』

→幼稚園給食 『アレルギーを持つ子にも同じ弁当を食べさせたい』

※全園児のアレルギー対応構築(作りわけ)73園に拡大

2013年 **産後食**

2014年 健康管理食(やわらか食)

**医療食・介護食**

2015年 **ダイエット食**と栄養相談付

行事食配達サービス

2017年 **病院給食**スタート

2019年 行政支援食受託



## 事例 地域への取組：配食事業（施設給食）

2017年4月	札幌禎心会病院
2018年4月	ケアセンター栄町、ら・せれな、山の手 3施設
2018年8月	サ高住ら・かるま
2021年2月	札幌禎心会病院職員食堂・レストラン給食
2021年4月	トーアレガートパレス(サ高住)、もみの木(老人ホーム)
2021年7月	デイサービスら・そしあ
2022年1月	デイサービス禎心会東センター給食(業務受託予定)



工場で主菜・副菜を製造



製造当日にバルクで納品



あたたかい食事を提供

2021年度(想定) **65万食の提供(1日1,780食)**

# コープさっぽろ 食のインフラとして

つなぐ  
**COOP** SAPPORO  
 コープさっぽろ「食のインフラ」の流れ

幼稚園食

スクールランチ

店舗

宅配ドック

夕食宅配サービス

病院・施設食



アレルギー対応  
食育推進

温かい食事提供  
食育推進

選ぶ楽しみ  
各種サポート

多忙スマホ注文  
重い荷物お届け

栄養バランス食  
調理不要

栄養バランス食  
安全安心食材

全道70園  
4300食／日

様子町学校  
265食／日

供給高  
1918億円／年

供給高  
1041億円／年

食数  
6000食／日

食数  
1850食／日

# 人と人をつなぐ事業

つながり形成 & 生活協同組合

組合員活動

文化 教室

福祉活動

家族葬

旅行

# 人と食をつなぐ事業

食のプロデュース能力

店舗

移動販売

食育

製造

宅配・配食

# 人と未来をつなぐ事業

ソーシャルビジネス開発能力

共済

エネルギー

子育て支援

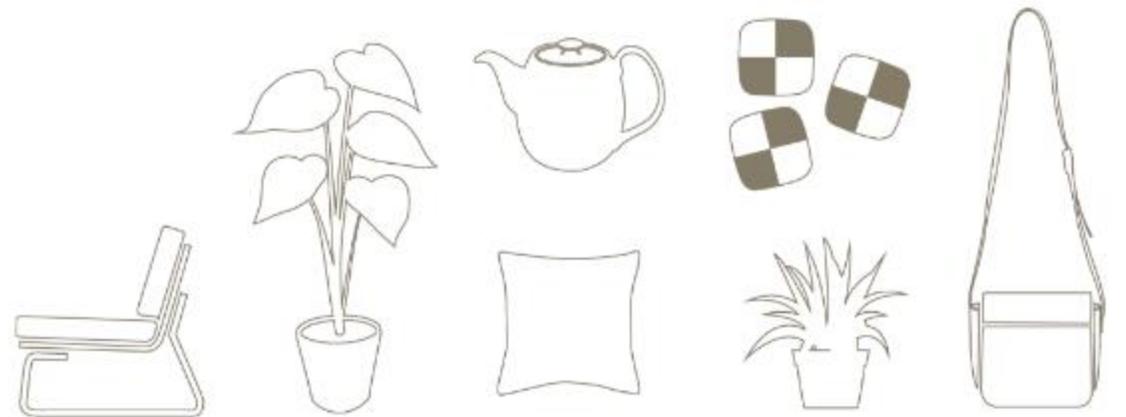
リサイクル

環境活動





無印良品・コープさっぽろ協同での地元における取り組みについて、  
あるいは商品やサービスについて、皆様の声をお聞かせください！

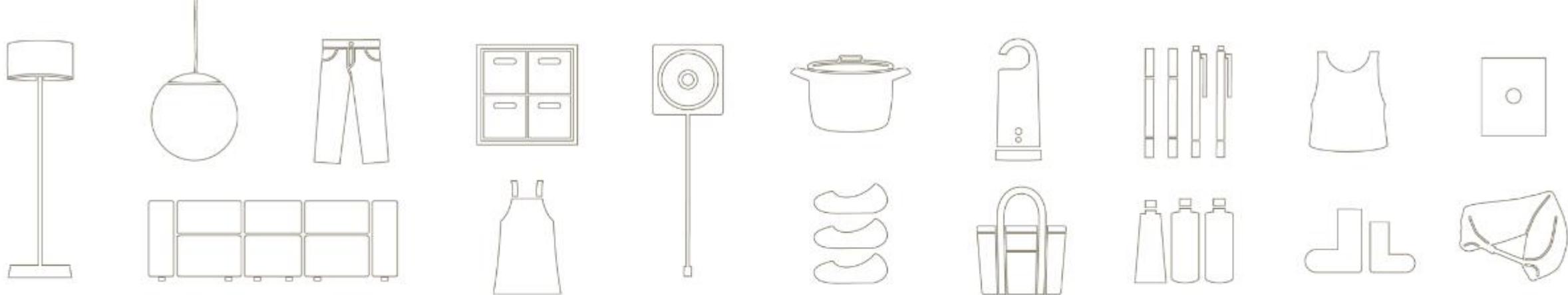


## アンケートご協力をお願い

本日はファンミーティングにお越しいただき、ありがとうございます。  
今後の運営の参考にさせていただきたく、  
アンケートにご協力いただけますと幸いです。



左記のQRコードを読み込み、ご回答ください。  
お時間がない場合、後日の回答でも問題ございません。  
どうぞよろしくお願いいたします。



# 株式会社 良品計画



## <免責事項>

- 当資料に記載されている内容は当社の株式の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。
- 当資料に記載されている当社の財務状況、経営方針、計画、業績目標等のうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報を基にした予想値であり、これらはリスクや不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、これらの予想とは大きく異なる可能性があります。
- 各種データ・資料については細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りや第三者によるデータの改ざん等本資料に関連して生じる障害・損害について、その理由の如何に関わらず当社は一切責任を負うものではありません。

